

# 議会だより

No.147

☆議長新年のごあいさつ	14
☆12月定例議会	15
☆委員会審議結果	16
☆一般質問	17
☆議案等の審議結果	21
☆議員活動報告	21

発行 麻績村議会  
編集 議会編集委員会  
〒399-7701  
長野県東筑摩郡麻績村麻3837番地  
電話0263-67-3001  
FAX0263-67-3094

## 新年のご挨拶



議長  
窪村 賢治

新年おめでとうござ  
います。謹んで新春の  
お祝いを申し上げます。  
昨年もまた、コロナ

限やマスクの着用の除  
外、移動規制の廃止、  
1月からの全国旅行支  
援等、経済活動を重点  
とする施策に舵を切り  
ました。これによって  
高どまりをしているコ  
ロナ感染症の罹患者数  
は増加の傾向をたどる  
のではと想像されます。  
現在当村では高齢化率  
が50%に近づいていま

す。ということとは2人  
に1人は65歳以上とい  
うことになり、高齢者  
(特に持病や基礎疾患  
をお持ちの方)は重症  
化リスクが高くなりま  
す。やはりうつらない、  
うつさないを原点とし  
て、マスクの着用や消  
毒、室内の換気等を心  
がけたいものです。

村内では一昨年同様、  
様々なイベントや行事  
が中止となりましたが、  
一部「二十歳の集い」  
や聖高原煙火大会が開  
催されました。これは、  
長きに渡る閉塞感が漂  
う中で灯りがさし込ん  
できた気がします。今  
年度は他のイベントや  
行事も再開して明る  
い年にしたいものです。

さて塚原村政に移行  
して一年が過ぎました。  
給食費の6割減や地区  
懇談会の再開といった  
目に見える物は評価で  
きますが、単年度で全  
体を評価するというの  
はなかなかむずかしい  
気がします。議会とし  
ては、村長の公約を基  
に、施策の実行と進捗  
状況を注視して行きた  
いと思います。

また議会においては  
議会の可視化というこ  
とで、新年度よりユー  
チューブでの動画配信  
を検討しております。  
今までは傍聴席か役場  
1階ロビーのモニター  
テレビでしか一般質問  
等が見られませんでした  
が、今後パソコンや  
携帯からダイレクトに  
見ることが可能になり  
ます。それによって議  
員各々が、どのような  
発言をしているのか、  
どのような考えを持っ  
ているのか、どのよう  
な活動をしているのか  
より村民の皆様様に理  
解していただきやすく  
なるかと思えます。  
また村民の皆様におか  
れまして、直接各々  
の議員に対して、「こう  
してほしい」というよ  
うな要望も伝えやすく  
なるのではないかと思  
っております。いつか  
ら開始するのか具体的  
な日取りは決まってい  
ませんが、決まり次第  
お知らせしたいと思  
います。



子ども議会(1月30日麻績小学校6年生)

またまだまだ収束が見え  
ないコロナ禍の折りで  
すが、昨年の11月に国  
内薬品メーカーの新薬  
が承認という希望の持  
てる明るい話題も有り  
ました。今年度は皆様  
方におかれましては、  
明るく安心安全な生活  
を送っていただきます  
様、皆様のご健勝とご  
多幸をお祈り申し上げ  
まして新年の挨拶とい  
たします。

副議長 茂木 泰男  
議員 飯森 茂孝  
〃 塚原 利彦  
〃 宮下 朗  
〃 飯森 寛志  
〃 宮川 秀俊  
〃 清水 清

# 12月定例議会

12月定例会は、12月6日から13日まで8日間の会期で開催された。

コロナ感染が収束しない中での開催であり、アルコール消毒やマスクの着用、傍聴席数の制限や議場内の換気の徹底などに加え、加湿器の設置を行い、一般質問の時間も一人10分短縮し、45分とすることで、感染予防を徹底して行った。

本会議第1日目は、

- ・ 条例の改正及び廃止 11件
  - ・ 令和4年度補正予算 4件
- の合計15件が一括上程された。

本会議終了後、議会全員協議会を行い、上程した議案等の詳細説明を提出者から受けた。

条例改正及び廃止については、令和3年6月11日に地方公務員法の一部を改正する法律（令和3年法律第63号）が公布され、令和5年4月1日より施行されるため、関係する8議案を提出した。この施行に伴い、職員の定年を引き上げるとともに、管理監督職勤務の上限年齢及び定年前再任用短時間勤務制度の導入、再任用制度の廃止と暫定再任用の特例措置など、関係する条例改正及び廃止をする。

また、国及び政府は国家公務員の給与制度等の改正を人事院勧告どおり実施することとし、その改正案を令和4年10月召集の臨時国会に提出し成立した。

麻績村においても、これに準じて給与等の改

正をすることとし、関係3議案を提出した。

議会議員及び常勤特別職の期末手当をそれぞれ0・05月引き上げ、一般職の職員の勤勉手当を0・1月引き上げのほか、30歳代半ばまでの職員が在籍する号俸を平均0・3%引き上げなどについて条例改正をする。

一般会計の補正予算は、総務費ではふるさと納税である「麻績村応援寄付金」や、4月に行われる県議会議員選挙に係る経費、民生費では特別会計繰出金、福祉センターの光熱水費、施設修繕費及び管理運営委託料、社会福祉扶助費、国庫負担金返還金、福祉企業センター通勤費補助金、保育園の光熱水費の不足額の増額を、生活困窮世帯緊急支援事業の電算処理委託料、敬老会中止による関係経費、ひとり親以外の低所得の子育て世帯分給付金事業の電算処理委託料の減額を、補正計上した。衛生費では、生ごみ処理施設の光熱水費不足額の増額を、農林水産業費では、中山間地域農業直接支払事業、鳥獣被害防止総合対策交付金、地籍調査業務委託料、個体数調整補助金の不足額の増額を、補正計上、商工費では、圧雪車整備消耗品、観光協会補助金、工事請負費の増額を、別荘交流会中止による食糧費の減額を、土木費では、特別会計繰出金、県道改良に伴う地区公民館改修事業の委託料及び工事請負費、住宅関連の光熱水費、移住定住促進住宅造成事業の用地測量委託料不足額の増額を、教育費では小・中学校ほか各施設における光熱水費、中学校のギガスクール関連委託料、地区公民館改修補助金、聖博物館の修繕費の増額を、村民運動会中止による関係経費の

減額をそれぞれ補正計上した。補正額は49,600千円の増額で歳入歳出総額は3,124,400千円となる。

本会議2日目の9日には、一般質問を行い、7名の議員が村政の執行状況や今後の方針について所信を質し、あるいは報告、説明を求めた。

新型コロナウイルスに関して、予防や村の危機管理体制について3名が、また、令和5年度予算の方針に関する質問や村内のため池の管理に関する質問、聖高原の別荘政策についてや麻績村の情報発信に関する質問など多岐にわたる質問がなされた。

本会議3日目である13日は、第1日目に上程した議案12件と追加で提出された議案1件について審議・採決等を行い、すべての案件で全員賛成により原案のとおり可決した。

## 諸般の報告

○議員派遣結果報告

## 請願・陳情等の委員会付託

- 安全・安心の医療・介護実現のための人員増と処遇改善を求める陳情
- 免税軽油制度の継続を求める陳情

## 条例の改正・廃止

- 職員懲戒に関する条例の一部を改正する条例について
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について



○職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について

○職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

○職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

○公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について

○職員の再任用に関する条例を廃止する条例について

○麻績村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について

○議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

○特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例について

○一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

その他

○令和4年度上井堀地区水道施設整備事業請負契約の変更契約について

令和4年度  
補正予算

○一般会計補正(第6号)

○国民健康保険特別会計補正(第2号)

○下水道事業特別会計補正(第2号)

○水道事業特別会計補正(第3号)

○議会議員の派遣

委員会審議結果

社会文教  
委員会

社会文教  
委員会

○安全・安心の医療・介護実現のための人員増と処遇改善を求める陳情

【審査結果】

採択・意見書提出

新型コロナウイルス感染症の拡大により、入院が必要にもかかわらず入院できない「医療崩壊」や、介護を受けたくても受けられない「介護崩壊」が現実となっている。これは、感染対策の遅れはもたらぬこと、他の先進諸国と比べても圧倒的に少ない医師や看護師、介護職員や保健師の不足が根本的な原因である。

人手不足が長年続いている状況を解消するためには、OECD平均以下の看護師の賃金

総務経済  
委員会

総務経済  
委員会

○免税軽油制度の継続を求める陳情

【審査結果】

採択・意見書提出

軽油取引税の減免措置については、令和6年3月末で廃止される状況にある。

免税軽油制度は道路を走らない機械に使う軽油について軽油引取税免除する制度で、農業用機械や船舶、倉庫や湾港などで使うフォークリフトなど、道路を使用しない機械燃料

用の軽油について免税が認められてきた。

スキー場産業では、索道事業者が使うゲレンデ整備車、降雪機械等に使う軽油が免税となっており、この制度がなくなればスキー・スノーボード等の冬季観光産業が大きな負担を強いられ、スキー場の運営維持が困難となる

とともに、地域の経済全体に深刻な影響を与えることが危惧される。よって当委員会は、陳情の趣旨に賛同し、採択・意見書提出とした。



聖高原スキー場降雪機

# 一般質問

## 質問事項

飯森 寛志

- 麻績村内農業用ため池の危険度と防災対策について
- 麻績村スポーツ推進基本計画の有無と、基本的な考え方、今後の方向性について
- 麻績村内体育施設の利用状況と改善改修計画について

宮川 秀俊

- 新型コロナウイルス感染症再拡大について
- 食肉処理施設の応募について
- 麻績村の教育行政の現状について
- 肥料価格高騰対策について

清水 清

- 第7次麻績村振興計画策定について
- 物価高騰に対する住民支援について
- 令和5年度の予算編成について

飯森 茂孝

- 第8波新型コロナウイルス感染症対策について
- 高校生等への通学定期券補助事業について

塚原 利彦

- 村長の施策について
- 聖高原の今後の別荘政策と居住区となっている「聖区」への行政対応について

宮下 朗

- 麻績村の情報発信について
- 防災無線・同報無線の現状と今後について
- 空き地の現状と今後の対策について

茂木 泰男

- 保育園児の送迎における安全対策について
- 小中学校への除雪機の配置について
- 麻績村のコロナウイルス感染症対策について

## 農業用ため池の危険度と防災対策は

### ため池のハザードマップが本年度中に完成、 今後は耐震改修を実施する



飯森 寛志議員

**問** 42箇所のうち村管理（大沼・聖湖）以外の40箇所の管理者と各地区の状況は

**答** 管理者については、ため池の受益者に管理されている水利用組合等になる。管理者変更は村側に一報をいただきたい。

**問** 緊急に対応すべき農業用ため池は

**答** 平成28年度に耐震性点検で堤防の脆弱性が指摘された大沼は改修工事が完了した。他のため池については貯水量及び下流域への被害想定が大きき等加味する中で、本年度から順次耐震性機能評価を行っていく。その結果水利需要が無く、防災上の観点から残しておくことが望ましくなれたためは、廃止に向けた協議を進めていく。

**問** 地元管理者の負担の有無は

**答** 日常的な管理については水利組合等で行っていた。防災上の観点から耐震性機能評価、豪雨体制評

価、ため池サポートセンターとの協力によりため池パトロールを引き続き行っていく。その結果、改修等が必要であれば順次進めていく。日常的な維持管理には、大変な労力が必要で、管理者の高齢化、減少等々更に負担が生じるものと考え、引き続き適正な管理をお願いしたい。

**問** 民間企業（ソフトバンク等）のため池推移監視システムの活用は

**答** 村内で稼働しているシステムは、長野県のため池監視システムです。貯水量と決壊時想定被害規模が大きいと判断された聖湖、大沼の二箇所に設置、このシステムは、ため池の適正な管理、大雨時や地震発生時の安全かつ速やかな点検を行うため長野県が考案し設置した水位計、監視カメラ、静止画像がクラウドサーバーに集約され、パソコン、スマートフォンから確認できる。すべてのため池ではないが、台風などで水位の上昇が見込まれる場合は、担当者から管理者に事前に連絡を取り水位を下げる対応をしている。特定企業が提供するサービスの活用は、現時点考えていない。

# 新型コロナウイルス感染症再拡大について 公共施設での職員等による飲食は

10月28日に行われた。参加者は20数名である



宮川 秀俊 議員

**問** 公共施設での職員等による飲食が行われたとのことだが、日時・出席者の人数は。  
**答** 有志による親睦会であり、10月28日に参加者20数名で行われた。  
**問** 新規の感染者数が再び増加傾向になり、10月20日には県の対策本部より、医療警報が発出された。行われた10月24日の週は8098人となった。開催の時期や場所に問題はなかったか。  
**答** 企画をしたのはあくまでも有志であり、開催の趣旨は聞いていたが、場所等については企画された皆さんが考えて実施した。

**問** 職員が感染した場合、新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、情報の共有、今後の対応などについてその都度協議を行うとともに、感染が確認された職場では、接触した箇所を中心にアルコール消毒を実施し、二次感染への対策をしている。  
**問** 職員が感染、陽性と分かり同じフロアで働いている職員が検査キットの使用を申し出たところ、拒否されたようだが。  
**答** 職員の感染予防に對するキットの使用を上司が拒んだという対応は多分ないと思う。濃厚接触者、不安を抱える職員は申し出るよう常々言っている。安心する中で職務を遂行してもらいたい。  
**問** 県からの抗原検査キットの配布有無、準備状況及び、希望者へ配布の考えは。  
**答** 8月に県より調査があったが、希望はしなかった。村の抗原検査キットの在庫は80個である。全村民にキットを配るといような考えは現在のところない。

# 物価高騰に対する住民支援について

国からの支援策を忠実に実施し、  
現在、村独自の支援策は考えていない



清水 清 議員

**問** 現在、景気の低迷、円安、エネルギーや食料品の相次ぐ値上げにより家計の負担増、年金の減額もあり大変暮らし難い状況に接しているがどの様に捉えているか。  
**答** ロシアのウクライナ侵攻、エネルギーや穀物といった原材料の価格が高騰、併せて極度な円安に拍車を掛けており国内需給率が低い日本においては原材料の大部分を輸入に頼るところが大きく、消費者物価の高騰には先が見えない現状である。

**問** 先頃、物価高に對する政府の本年度第2次補正予算が成立されたが、今後国の支援をどの様に見込んでいるか。  
**答** 電気、ガス、燃料等の上昇を抑えるため元売り各社に補助金の導入、また住民税が非課税の世帯を対象に1世帯5万円の給付を実施する。その他、中小企業の資金繰り支援や観光・飲食業に對する低金利の拡充も円り経済対策を進めていく。  
**問** 今後、村独自の支援は考えているか。  
**答** 現在、村独自の支援策は考えていない。  
**問** 県下の市町村の中には水道料の基本料金を時限的に減額しているところもある。バラマキ政策とは考えず、麻績村においても、財政調整基金を活用して村民世帯へ物価高に對する姿勢を示すべきと感ずるがいかがか。  
**答** 現在は、物価上昇による支援策として、生活支援おみほん商品券や燃料クーポン券などの配布を行ってきたところである。財政上も厳しい面もあり、国の動向を見ながら必要に応じて検討していく。

## 第8波の新型コロナ対策は

### 基本的なコロナ対策は各家庭での検温、健康チェックと情報共有が必要

飯森 茂孝 議員



**問** 新型コロナウイルス感染症の発生予防と重症化を防ぐために、オミクロン株対応2価ワクチン接種が実施されている。麻績村でのワクチン接種の進捗状況と対象者数は。

**答** 麻績村では、令和4年秋に開始して、これまでに2回接種を終了している。12歳以上を対象として接種可能間隔期間が3ヶ月に短縮されたことに伴い、ワクチン接種の案内をしている。進捗状況は1380名が接種し、接種率は63・2%となっている状況である。個人が県会場などで接種した方は含まれていない。

**問** ワクチン接種を受けた方で1日、2日、経過後に発熱や体調不良を訴える方への追跡

は、行っているのか確認したい。

**答** 接種者が役場に相談された場合は分かるが、自身で病院へ行くなどの追跡等については把握ができない状況である。

**問** 保育園、そして小中学校で、感染者が出た場合、どのような対策を講じるのか教えていただきたい。

**答** 保育園、小中学校などで感染者が出たという場合は、教育委員会からすぐ村長に報告があり、関係会議を行うなどのような対策を取るか検討する。対策方法は、各家庭の検温、健康チェックカードなど、家庭でも児童、生徒の状況をしっかりと見ていただき、家庭内においても体調の悪い方がいる場合などは、登校園を見合わせて感染リスクが上がらないような協力と、園や学校から一斉のメール発信を活用し保護者との情報共有が取れる形をとっている。

## 平成21年の「聖高原別荘事業の抜本的見直しに係る答申書」について

### 別荘地の集約等の課題については今後研究・検討を行っていく考えである

塚原 利彦 議員



**問** 平成21年に提出された「聖高原別荘事業の抜本的見直しに係る答申書」の内容について、村長ご自身はどうお考えか。

**答** ここまでの間、誘客に向けて取り組んだ事業もあり、答申に基づいた色々な事業については鋭意努力推進をしてきたと思う。ただ、この頃のコロナの影響や地上権の解約も増えつつある中では、別荘の集約等々の課題について、今後研究・検討は行っていくかねばならないと考える。

**問** 現状の別荘政策を続ける事に関し、行財政の負担や費用対効果についてどう考えるか。

**答** 当初、分譲契約数は1800区画あったが、昨年度末には650区画まで減少。今後

は更に契約解除の増加が見込まれる。契約区画の集約化は、対象区画が広範囲に点在しており、思うように進まなかった。開発から60年が経過し、別荘地の現状も大きく変化している。施策の再検討の必要性は十分認識している。新たな契約の際には販売区画を限定するなど、結果的に集約化、財政負担の削減に繋がっていくよう努力したい。

**問** 今後の方針として地上権分譲は力を入れて積極的に進めるのか、あるいは成り行きに任せるような方向か。

**答** 麻績方式の別荘地を希望する人がいるとなれば積極的に進めたい。

**問** 聖区在住の村民に対する行政の対応は。

**答** 除雪は幹線だけでなく細部の支線まで行っている。村営バスについては現在総合的な検討を行っている。村内で行政サービスに差が出ないよう努めたい。

## 防災無線・同報無線（お知らせ放送）の現状と課題は？

### 費用対効果を熟慮しながら更新する予定



宮下 朗 議員

**問** 防災無線の現状と課題はどうなっているのか。

**答** 麻績村の防災無線は災害発生時に迅速な連絡体制を確保するために整備されている。デジタル移動通信システムを採用し、平成14年に役場の統制局設備、中継局設備として城山中継局、陸上移動局整備として半固定の無線装置、車載型の無線装置、携帯型の無線装置を整備し、平成15年運用を開始している。台風19号災害の教訓を受け、一時避難所となっている地区公民館にも携帯無線設備を配備し、緊急時の連絡体制を確保している。

**問** 通信エリア等で不具合はないか。

**答** 今のところそのような状況は認識してい

ない。  
**問** 村内のお知らせ放送にも使用されている同報系の無線設備の現状と課題は。

**答** アナログ方式を採用し、平成15年役場に親局設備、城山中継局設備、子局設備として屋外の拡声装置と各家庭に個別受信機を整備している。また、地区内放送のための遠隔装置も同時に整備し、平成16年より運用を開始している。

**問** 個別受信機と地区内放送について不具合の声が寄せられているが今後の対応は。

**答** 使用期間が18年を経過し、設備の老朽化による改修が必要になっており、デジタル化に向けて更新していきたい。

**問** 基地局の被災に備え、携帯電話回線を併用した最新デジタルシステムを導入している自治体も増えていると聞くが麻績村の対応は。

**答** 多額の費用が必要となるので、しっかりと検討して対応したい。

## 保育園の送迎時における安全対策と教育について

### 保護者との連携による情報共有と確認を徹底する



茂木 泰男 議員

**問** 保育園の送迎における安全対策と運転手に対する安全教育は実施されているのか。

**答** 村営バスは自家用有償旅客運送であり、輸送の安全、旅客の利便性確保のために、運行管理者のアルピコタクシー（株）が運転者に対して安全運転のための確認、指示を行なっている。具体的には聖高原駅到着後に車両の忘れ物も含めて異常の有無を確認したり、乗車人数と降車人数の合計に相違ないか等、運行ごとに確認をしている。また、村営バス運転手には毎年アルピコタクシー（株）が行なう安全運転講習会の受講を義務づけ、安全運転、情報共有等確認の徹底強化に努めている。

**問** 運転手と保育園、保護者との事故防止に對する体制は徹底されているのか。

**答** 保育園では急に飛び出さない、車の近くでは遊ばない事など徹底し、登園時は保育士がバス停まで出迎え、降車する園児を確実にバスから引き継ぎ、朝バスに乗らない場合は保護者からの連絡を徹底し、連絡がない場合は担任が保護者に連絡をとり確認をしている。降り残しなどの事故防止の徹底については降車の際に保育士と運転手による確認の他、バスが駅に戻った際に車内清掃時にも確認をしている。



【議案等の審議結果】

\*案件名称のうち、「麻績村」は省略します。

案件種別	議案番号	名称	議員名と賛否						
			飯森茂孝	塚原利彦	宮下 朗	茂木泰男	飯森寛志	宮川秀俊	清水 清
議案	議案1号	職員の懲戒に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案2号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案3号	職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案4号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案5号	職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案6号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案7号	職員の再任用に関する条例を廃止する条例について	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案8号	麻績村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案9号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案10号	特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案11号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案12号	令和4年度 麻績村一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案13号	令和4年度 麻績村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案14号	令和4年度 麻績村下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案15号	令和4年度 麻績村水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案16号	令和4年度上井堀地区水道施設整備事業請負契約の変更契約について	○	○	○	○	○	○	○
発議	発議1号	「安全・安心の医療・介護実現のための人員増と処遇改善を求める意見書」の提出について	○	○	○	○	○	○	○
発議	発議2号	発議第2号「免税軽油制度の継続を求める意見書」の提出について	○	○	○	○	○	○	○
発議	発議3号	議会議員の派遣	○	○	○	○	○	○	○

私たちは

こんな活動をしています

11月

- ・議会運営委員会
- ・地方自治政策課題研修会
- ・町村議会議長会全国大会
- ・松塩筑木曾老人福祉施設組合議会定例会
- ・松本広域連合議会定例会
- ・定期監査
- ・穂高広域施設組合議会定例会
- ・議会出納検査
- ・安曇野松筑広域環境施設組合議会定例会

12月

- ・議会定例会
- ・議会全員協議会
- ・総務経済委員会
- ・社会文教委員会
- ・例月出納検査
- ・1月
- ・消防出初式
- ・議会だより編集委員会

2月

- ・例月出納検査
- ・子ども議会
- ・議会運営委員会
- ・安曇野松筑広域環境施設組合議会定例会
- ・松本広域連合議会定例会
- ・松塩筑木曾老人福祉施設組合議会定例会
- ・穂高広域施設組合議会定例会
- ・町村議会議長会定例会
- ・例月出納検査

編集委員

宮川 秀俊  
清 水 賢治  
峯 村 治  
飯 森 寛志